

# 「北檜山町」閉町にあたって

北檜山町長

内田 東一



秀峰狩場連山と雄大な日本海にいだかれ、みどり豊かな大地にはぐくまれた我が町は、「農業・漁業のまち」と並行して「商業・文化のまち」、さらには「福祉のまち」へと着実に発展を遂げ、今年で五〇年を迎えました。

今日の北檜山町を築き上げられた先人、諸先輩の皆さまに心から感謝と敬意を表します。

顧みますと昭和三〇年、戦後復興の努力や朝鮮戦争の終結による経済発展のなかで昭和の町村大合併により北檜山町が誕生いたしました。以来数次にわたる自然災害や冷害と闘いながら今日の「花と緑と温泉のまち」として大きく発展してまいりました。

この間の先人の苦労は言葉では言い表すことはできない苦闘の連続であったと思います。歴史は過去のものではなく、未来を創造するものであるとも言われております。我々の先人がこの地に住み着いて長い歴史の積み重ねが現在の北檜山町発展の基になった訳であります。

現在、我が町は、海辺や漁港の環境整備、水田農業基盤整備、全町民参加によ

る花と緑豊かな潤いのある町を目指した環境美化、さらにはNPOを活用した自然体験活動や観光振興、各種産業の活性化への取り組みなど、行政と町民が一体となったまちづくりを進めております。

私は、まちづくりは行政のみでは到底成し得るものではなく、町民と一緒につくりあげていくべきであると理解をし、膝を交えて対話ができる移動町長室を毎年開催してまいりました。町長に就任してまる三年経ちましたが、町民の皆さまとはいつも本音で話し合ってきたつもりであります。

特に、この一年有余にわたり、北部三町の合併に際して町民の皆さまにご理解と多大なご協力をいただき、また、貴重なご意見を賜りましたことに対し心から感謝とお礼を申し上げます。

九月一日をもって、瀬棚町・大成町と合併し、新「せたな町」として生まれ変わりますが、三町の均衡ある発展を願い、町民が安全に、安心して、安定した生活が送れるよう今まで培ってきた貴重な財産をさらに大きく、新しい町が一層躍進するよう、引き続き温かいお力添えを賜りたくお願い申し上げます。閉町にあたってのご挨拶といたします。

# 北檜山町歴代町長

初代 松谷 與市  
昭和30年5月～36年12月



二代 塚越 武雄  
昭和37年1月～45年8月



三代 高根澤 正男  
昭和45年8月～57年8月



四代 秋元 伸一  
昭和57年8月～平成2年8月



五代 原田 貞勝  
平成2年8月～14年8月



六代 内田 東一  
平成14年8月～17年8月



## 北檜山町50年の主なあゆみ

- 昭和30年4月1日 太櫓村と東瀬棚町が合併し北檜山町が誕生（昭和の大合併）
- 昭和30年4月 北檜山町商工協同組合設立
- 昭和30年8月2日 北檜山町社会福祉協議会設立
- 昭和31年10月18日 「財政再建団体」として指定を受ける（昭和38年度で終了）
- 昭和35年6月1日 北檜山・太櫓両森林組合合併、北檜山町森林組合設立
- 昭和35年11月15日 北檜山町商工会設立
- 昭和37年8月3日 台風により利別川・真駒内川堤防決壊、災害救助法適用
- 昭和45年4月22日 檜山北部三町し尿処理組合設立（現北部檜山衛生センター組合）
- 昭和45年9月24日 北檜山町体育協会設立
- 昭和47年4月1日 北檜山・今金両高等学校統合、道立檜山北高等学校として開校
- 昭和47年6月23日 北檜山町観光協会設立
- 昭和48年4月1日 北檜山町立北檜山幼稚園開設
- 昭和48年4月5日 北檜山町土地開発公社設立
- 昭和49年4月1日 檜山広域消防組合設立、北檜山支署開署
- 昭和52年1月20日 北檜山町文化団体連絡協議会設立
- 昭和52年5月21日 北檜山ライオンズクラブ結成
- 昭和57年4月23日 北檜山・瀬棚二町による狩場葬斉組合設立
- 昭和60年4月1日 「スポーツと文化の町」宣言
- 平成4年10月16日 北檜山町高齢者事業団設立
- 平成5年7月12日 午後10時17分北海道南西沖地震発生  
太櫓・新成地区に津波襲来  
死者4名・行方不明1名  
災害救助法適用
- 平成5年7月13日
- 平成6年7月20日 株式会社北檜山観光振興公社設立
- 平成14年2月1日 若松農業協同組合広域合併によりJA新函館農業協同組合若松支店となる
- 平成16年4月1日 檜山北部三町（北檜山・瀬棚・大成）合併協議会設置
- 平成17年8月31日 北檜山町閉町

